

# Library Mate

## 自らと向き合う場としても

図書館長 板垣 弘子  
(短期大学 国文学科 教授)

社会人一年生になったばかりの教え子から、「学生時代はよかった。今は毎日が忙しすぎて、自分の時間ももてない」と記した手紙が届きました。不安と緊張が交錯する日々。そんな毎日を彼女は過ごしているのです。

学生時代とは、この文面からもうかがえるように、時間を自分のために自由に使うことのできる、人生のごく恵まれた一時期なのだと思います。どうぞ実り豊かな学生生活を送ってください。そのために図書館が少しでもお役に立てれば、と考えています。

図書館の利用法はさまざまです。まずは勉強のため。レポートや卒業論文の資料を探しに訪れることが多いでしょう。現在、本学の図書館には、大学短大併せて40万冊近い蔵書があります。しかしそれも活用されなければ、まさに死蔵。使われてこそ書物も生きるのです。

また、時には何げなく手にした一冊の本にのめり込んでしまうこともあるかもしれません。悩んでいるのは私だけではない。この著者も同じように苦しんでいたのだということを知って、励まされることもあるでしょう。開架式というスタイルが与えてくれる偶然の好機です。

さらに、空き時間を使ってのビデオ鑑賞なども良いでしょう。作中人物と一体化し、悲劇のヒロインを演じるのも結構。仮想の世界で



夢を限りなく膨らめますのも、あるいはその逆の場合であっても、ともに素敵なことだと思います。

そして、さしたる目的もないまま入館し、静かな雰囲気の中に身を置いてみる—それも大いに歓迎です。すべてが慌ただしいこの世の中、時には立ち止まり、ひとりになる時間をもつことも必要ではないでしょうか。自らと向き合う場としても、静寂が支配する館内はうってつけの空間だといえるのではないかと思います。

どんなかたちであれ、図書館に足を運んでみてください。充実した学生生活を送るために。

# 図書館の利用教育と情報教育

短期大学図書館学課程

教授石井紀子

手元の『図書館雑誌』本年1月号「告知板」で目にとめた“「図書館を探索する」の小冊子をご希望の方に差し上げます”という主旨の記事が、本学の図書館との出会いでした。早速ファックスで申し込み送られてきた手づくりのものの内容を見て、忙しい図書館業務の合間をぬって良くも粘り強く“情報の海をサーフィンしたもの”と感心しました。4月に短期大学に赴任し、改めて改訂版「インターネットで文献探索」をいただいたのですが、各国の図書館目録からオンライン書店、雑誌・新聞の検索など、無料で使える文献探索の基本的データベースが紹介されており、限られた配布では勿体ない気がします。有料にしてもっと広く多くの図書館員や研究者など必要とする方々へ頒布すれば、喜ばれることは必定ではないでしょうか。今や国立国会図書館をはじめ大学図書館や公共図書館など続々とホームページを開設し情報発信を始めましたが、文献探索機能や豊富なゲートウェイ機能をもつものは恐らく半数以下と思われます。この点から言っても、本学図書館のホームページはコンテンツが良く、図書館のスタッフの方々の前向きな姿勢をうかがうことができます。

さらに、図書館ツアーにも参加しましたが、こうした新入生向けのオリエンテーション以外にガイダンスとして、図書館端末の使い方にはじまりCD-ROMの使い方、インターネットを利用した文献探索法、オンラインデータベースの紹介・使い方など、実践的なメニューが組まれています。私の担当科目の受講生に実施したアンケートの中でも、この有益性をあげている者も多く、一人の学生などは「1996年度のガイダンスは44回で2480名が受けた」と調査・報告してくれました。ちなみに『図書館はいまー白書・日本の図書館1997』によると、1994年に国公立、私立大学、短大、高専に行なった利用教育実施状況調査では、回答館1532のうち何らかのかたちで利用教育を実施しているのが71%、その内容を見ると、オリエンテーションが61.3%

ですが、文献探索法やデータベース検索法になると20~30%台という状況です。これから言っても、本学の図書館利用教育が進んでいることが分かります。

私はこの20年来、文献目録・索引など文献探索のツール編集を仕事とし、とくに近10年は時代の変化とともに、データベース構築、CD-ROMや電子ブック等のニューメディアの編集に携わってきました。しかし予想に反して、図書館現場への浸透はもどかしい位遅かったのですが、やっとこの5年位の間に、図書館側の予算対応も可能となり、大学図書館を中心に急速に広がっています。一方、阪神大震災をきっかけに、パソコン通信やインターネットがまたたく間に普及し、後者のユーザー数は世界で約1億、日本で1000万人に達しています。

こうした状況に文部省もやっと2年前に「図書館法施行規則」を改正し、司書資格の科目に「情報サービス概説」「情報検索演習」などを必修として加え、また去年は「学校図書館法」の一部改正によりニューメディア活用法を習得した司書教諭の養成を打ち出し、続いて公立小中高校でのインターネット接続整備など、矢継早やに対策を進めています。この目的は一言でいえば、21世紀の高度情報化社会を生き抜くための基礎的能力としての「情報リテラシー」の習得にあると思います。

本学の情報教育環境整備も着々と進められておりますが、限られた司書課程の授業時間内では総論に比重がおかれ、情報利用の実践的なスキルを習得させる個人指導はむずかしい現実です。そこで前述した利用教育の成果をもとに図書館のスタッフの方々にも情報教育の一端を担っていただき、理論と実践の両面があいまって総合的な情報教育が展開できないものかと考える次第です。本当は、すべての学生が在学中に完備された図書館を使い、学習・研究に必要な情報利用法を身につけると同時に、卒業後も自立した一社会人として、こうした能力を活用できるよう育成する必要があると思います。



## 学生に薦める本

大学生生活文化学科

教授 岡野 治子

様々な家電製品、交通手段の発達、携帯電話、外食産業、リッチな娯楽・レジャー施設などなど、社会の「近代化」が人類にもたらした贈物は計りしれない。だがこれで私たちは幸福になったのだろうか？近代化は数世紀にわたって人類の、特にアジア人の理想であった。しかし近代化が進行するところ、公害、差別など様々な歪みが露呈してきた。この社会的歪みこそ、近代精神の「申し子」でもあることは今日否定し難くなった。現代社会に異議申し立てをしたいあなたに、この一冊をお薦めしたい。

今村仁司著『近代性の構造「企て」から「試み」へ』講談社 1994年。

今村氏が語るように、自由、権利、正義の理念と身分・階級制から解放された市民社会を創出したことは近代の成果である。しかしひたすら「非理性」、「非合理性」を排除してきた近代精神は、病的なまでに「正確さ」や「秩序」にこだわることになる。政府や官僚による管理システムの現出がその良い例であるという。ヒトの平均寿命、生涯の労働時間が「何時間何分」で表現される。人間の生活や自然の営みまでが数量的に処理される機械論的世界理解の構図が生まれたのである。このように管理システム化した社会は、国民国家を単位とするために、同化と排除の論理（国民と外国人）を駆使して、市民の帰属意識、すなわち同質者としてのアイデンティティを確立させる。「自分たちはここの幸福な市（国）民」というアイデンティティの確立は、切断線を引いてその向こう側に異質な他者を立たせることになる。差別は近代精神が必然的に生み出すものでもある。アドルノ、ベンヤミン、ミシェル・フーコーなどの近代批判の思想に依拠しながら、近代精神の持つこのような暴力性を分析していく今村氏のこの書は迫力があり、説得力がある。

ここ数十年来私が追いかけているフェミニズムの問題、また社会的弱者の問題もその多くはこうした理性と合理主義を偏重する近代思想の産物でもある。近代精神は要するに「あいまいさ」や多様性を秘めた原初的「混沌」を許さない。子どもの世界、生命の誕生・育成に関わる母性、家庭での憩い、レジャーまでがマニュアル化し、あるべき姿、計算され尽くした様式に向けて管理される。「子どもらしくない」子ども、「母らしくない」母が糾弾されるように、産業社会では心身障害者や老人が「お荷物」になる。産業社会とは、「健常者」の共同体であり、そこに切断線が引かれる。そこからはみ出る人々は、「健全な」市民による恩恵としての福祉の対象者となる。

しかし現実に「子ども」、「学生」、「母親」、「サラリーマン」、「老人」などという概念でまるごと一括りされるような人々がどれくらいいるだろうか？「学生である以前に私は私なのだ！」ではないだろうか？個性を尊重するとはそういうことだろう。この個性尊重の視点を欠いたヒューマニズムや種々の倫理は、まやかしである。もう一つ踏み込んで言えば、健全な市民から成る市民社会というのは幻想に過ぎず、現実には、か弱く、惑いやすい一人一人の人間の集団であることを再認識すること以外に、近代精神の陥穽を越える法がないように見える。

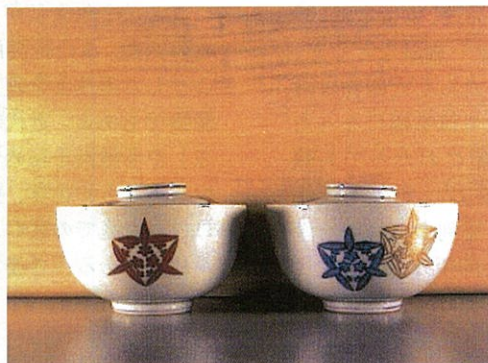
今村氏も言う。「いずれ度しがたい人類のメンバーであるなら、度しがたさを確認するところから出直す方がよい。…犠牲者づくりが社会的人間のつとめならば、われわれ自身が犠牲者になろう」。地球的規模に存在する弱者も含めて人類の共生を語るなら、この覚悟、この視点がなくてはならないだろう。女性の視点から果敢に近代批判を行ったシモーヌ・ド・ボーヴォワールの作品も併せてご紹介しておきたい。生島遼一訳『第二の性』新潮社1959年。朝吹三吉訳『老い上・下』人文書院1972年。



## 下田歌子と実践女子学園百年のあゆみ展（仮称）

現在百周年記念事業として建築中の校舎に、展示室と資料室が設置されます。新校舎の披露もかねて、平成11年5月11日（火）から15日（土）まで展示室と小会議室において、下田歌子と実践女子学園百年のあゆみ展を開きます。展示室には、学祖下田歌子先生の幼年期から83歳で没するまでの和歌・書簡・遺品等を展示し、小会議室には実践女子学園の創立から現在に至るまでの諸記録の展示を予定しております。また、他

の小会議室には実践女子を展示する計画です。明年に至るまでの百年の間空襲で全てを焼失すると戦後は創立期と同じ無か期と異なるのは物質的に先生の教えを受けられた産として残されていたこのご協力と教職員の努力とができます。実践の史的象徴として、下田先生の資料および一般に誇りうる古典籍を展示し、創立当時と現在の実践女子学園を比較し、いかに発展したかをご覧くださいと思っております。



笹りんどう紋（下田歌子の私的紋）入茶碗



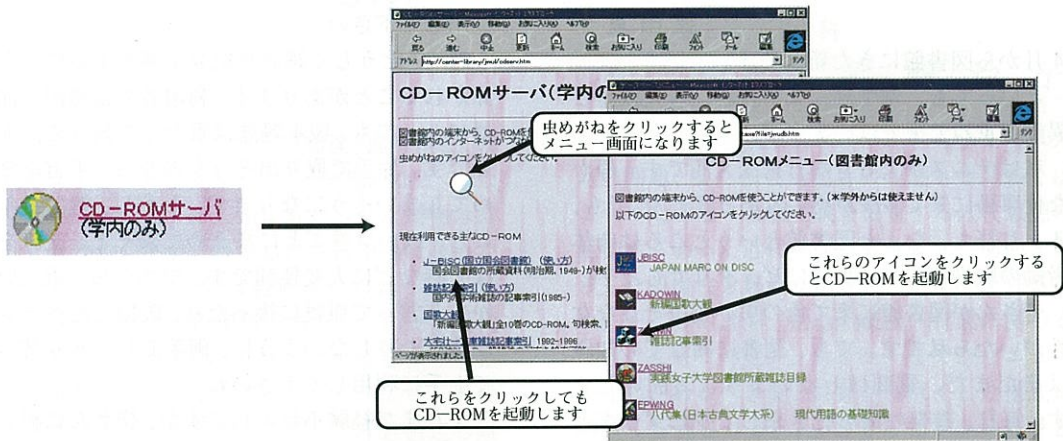
### CD-ROMをネットワークで検索しよう！

図書館内のインターネット端末・利用案内端末（一部）から、CD-ROMを使うことができます。昨年度、大学図書館にCD-ROMサーバー（NSCDNet:28ドライブ）が導入されました。その結果、図書館のネットワーク端末からCD-ROMが検索できるようになりました。従来のスタンドアロンとの違いは、CD-ROM 1枚に同時に何人でもアクセスできること（権利上の制限はあります）、ネットワークにつながっている端末からならどこからでも起動できること、などです。起動するまでに多少時間がかかりますが、検索スピードはスタンドアロンのものと殆ど変わりません。

現在CD-ROMが検索できるのは、大学図書館ではインターネット端末6台（1階目録コーナー：3台、地下1階：3台）と利用案内端末（目録コーナー：3台\*壁際の利用案内端末は利用できません、地下1階：1台）です。又、短大図書館のインターネット端末からも検索することができます。

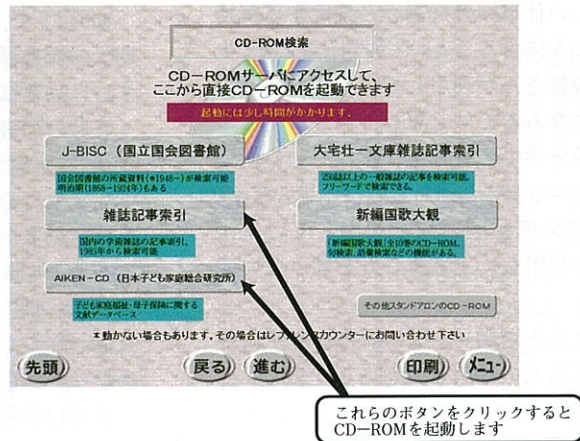
[インターネット端末からの起動方法]

図書館ホームページのCD-ROMサーバー（又はCDのアイコン）をクリックします



[利用案内端末からの起動方法]

メニュー画面のCD-ROM検索のボタンを押します



[ネットワークで利用できるCD-ROM]

J-BISC (国立国会図書館)	国会図書館の所蔵資料(明治期, 1948-)が検索可能
雑誌記事索引	国内の学術雑誌の記事索引(1985-) ※1984年以前は冊子体(地下1階)で検索できます。
国歌大観	「新編国歌大観」全10巻のCD-ROM。句検索、語彙検索、作者検索などの機能がある。
大宅壮一文庫雑誌記事索引 1992-1996	250誌以上の一般雑誌の記事を検索可能 ※冊子体(書誌コーナー)でも検索できます。
AIKEN-CD	日本子ども家庭総合研究所のデータベース

## 「館員の横顔」

### 「チャレンジ」

窪田夏子

4月から図書館にきた新人です。

といっても、学生課、大学教務、短大教務と異動を重ねて来てはいますが。

私はテニスが大好きな行動派人間です。静かな仕事場に来て多少戸惑いもありました。でも、4ヶ月経ち、なんと図書館というところは肉体労働の職場でした。私にはピッタリでした？

皆さんが図書館に来て色の黒い丈夫そうな女性がいたら私です。でも、図書に関しての知識はまだまだ、質問はしないようにお願いします。毎日、書架の間を歩き来して少しずつ本と仲良くなる楽しみを覚えているところです。

皆さんの研究、勉強のサポート役になる為に、本の場所、貸出、返却、図書の購入、そしてパソコンetc覚えることが多くて只今、頭も体もパニックっています。

でも、新しい仕事への好奇心と挑戦する気持を忘れないようにすること、そうすることが、少しでも学生の皆さんが利用しやすく、わかりやすい図書館になるのではと思っております。この気持は、多分学生の皆さんが持っている研究あるいは勉強への興味と同じものだと思います。

貴女は、週に何回図書館を利用していますか？おおいに利用して下さいを願っています。

最後にチョットお願い。次に読みたい学生のためにも、本は元の場所に返却して下さい。

### 「図書館の仕事」

和田郁子

波・ASCII・英語青年・ジュリスト・東京人。これ、何だかわかりますか？これは、実践女子大学図書館で所蔵している雑誌タイトルの一部です。現在大学図書館では、約570タイトルの和雑誌を購入し、その他に様々な機関から送られてくる雑誌を合わせると、800誌以上にもなります。それらの受入をし、雑誌架に配架したり、製本準備やその後処理をするのが私の主な仕事です。1日の半分は、大量に送られてくる雑誌の受入や配架に追われて過ぎてしましますが、

“誰が読むの？”と思うような雑誌でも、利用があると嬉しく思います。雑誌は、図書では得られない最新の情報を得ることができるので、レポートなどにも役立ちます。皆さん、どんどん利用して下さい。

時々、どうして雑誌や紀要を製本するのかと聞かれることがあります。利用者や私達図書館員にとっても、製本雑誌は重たくて扱うのが大変です。片手で取り出そうものなら、手首を痛めてしまいそうになります。しかし、雑誌を年ごと、或いは巻ごとにまとめておくと、文献を探す時などに大変便利です。ですから、重たいからと言って粗雑に扱ったり、破損したページが抜けたりしないように、両手でしっかり持って上手に利用して下さいね。

まだまだ経験不足の私ですが、皆さんに親しまれる図書館を目指して、只今勉強中の毎日です。どうぞ、よろしく申し上げます。

### 「新人からの手紙」

笹野恭子

初めまして、今年度4月1日付で嘱託職員として短期大学図書館(週に1,2度は大学図書館にも行きます。)に勤務している笹野恭子と申します。

実践の図書館が私の勤務先となったのは、実は2年前、私が短大2年時の春休みからです。その時は学生アルバイトとして、バーコード貼付業務を、卒業後は常勤アルバイトとして、大学・短大図書館でそれぞれ1年間の事務補助業務を経験して現在に至っています。2年前、アルバイトに応募していなければ、私はここには居なかったんだなと思うと、不思議な“縁”を感じずにはいられません。

仕事は普段デスクワークが多いので、休日は散歩をしたり、ハイキングをしたりして気分転換をしています。特にハイキングは、登っている間は大変苦しく、そして辛いなあと思いますが、木々の緑や空の青、頂上に立った時の気持ち良さが何とも言えずに、はまっています。

7月下旬には友人と日本一の山・富士に登る予定です。その頃には梅雨も明けているといいのですが…。

図書館員としても、ハイキング同様1歩1歩着実に前進していこうと思っています。まだ、歩き始めたばかりで道に迷うこともあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願い致します。

# Library Mail

## 大学図書館

### 1. AVブース増設

4月より、1階目録コーナー奥にAVブースが2台増設されました。2階のAVコーナーの6台とあわせて8台となりました。ビデオやLDの視聴に利用できます。いままでの混雑を少しでも緩和し、より多くの方に利用してもらえたらと思います。しかし英語字幕付き映画ビデオ以外の視聴覚資料が図書館の事情で、皆さんの目に触れにくいところ(事務室)に置いてありますので、今後は、設置場所も考慮して行く予定です。もうしばらくお待ち下さい。

資料の置き場所や利用方法は、インフォメーション端末を見たり、レファレンスカウンターにお尋ね下さい。

### 2. CD-ROM/インターネット端末2台増設

大学図書館1階の目録コーナー奥に、CD-ROM/インターネット用の端末を2台設置しました。

【利用方法】 利用する時は、[AV資料]用紙に記入してレファレンスカウンターに申し込んで下さい。予約することもできます。

【利用時間】 1人1時間までとします。後続の人がいなければ延長することもできます。

【備考】 この端末はCD-ROMの利用が優先になります。先にインターネットを利用していても、途中で終了していただくこともありますので、ご了承下さい。

## 短大図書館

### 1. ビデオデッキの増設

これまで、①～⑤ブースはAVライブラリーシステム(オートチェンジャー内ソフトの利用)だけでしたが、ビデオデッキを増設し、これで図書館蔵のソフトを全て館内で利用できる環境が整いました。

### 2. ビデオ・キャプション装置の増設

ビデオ・キャプション(英文字幕を電子的に画面に表示)装置を①～⑤ブースに増設しました。語学の学習には最適です。スクリーンプレイ(シナリオ)と合わせてご利用ください。また、大学生の利用もお待ちしています。

### 3. インターネット検索端末の増設

インターネット検索端末が1台増え、2台利用可能となりました。

また、イントラネットにより大学図書館所蔵のCD-ROMが利用可能です。利用可能なソフトは限定されていますが、大学図書館のホームページからご利用になれます。



# ※※※いんふお-め-しょん※※※

1998年6月～1998年12月

## 大学図書館

### 開館時間

月～金 9:00～18:00 土 9:00～16:00  
 試験期 (7/1～7/25)  
 月～金 9:00～18:45 土 9:00～16:00  
 7/27～7/29 9:00～18:00  
 夏休み期間(7/30～9/19)  
 月～金 9:00～16:00 (土曜閉館)

### 休館日

書庫整理日：毎月末の火曜日  
 夏休み期間：毎週土曜日  
 8/8(土)～8/18(火)

### 試験期の貸出

7/1(水)～7/23(木) 3日間貸出

### 夏休み特別貸出

期間：7/24(金)～9/11(金)  
 冊数：無制限  
 返却日：9/25(金)

### 卒論貸出

対象：博士論文作成者・修士論文作成者  
 卒業論文作成者(全ての学部)

受付期間：10/1(木)～11/12(木)

貸出期間：貸出日から30日間

冊数：無制限

※詳細や変更は掲示にてお知らせします。  
 ※常磐祭のため11/13(金)～16(月)は閉館します。

## 編集後記

春は出会いと別れの季節。そんな大げさなものではありませんが、4月には学校内でも異動や交代があります。図書館も新館長に板垣先生を迎えました。八幡課長が情報センターへ異動となりましたが、短大教務課より窪田次長、また新たに、和田さん(大学)、笹野さん(短大)がスタッフに加わりました。う～ん、女性ばかり…。

Library Mate編集スタッフも、窪田、和田、竹田の3名が加わりました。大塚、平野と共に図書館の情報をお届けします。

## 短期大学図書館

### 開館時間

月～金 9:00～17:30 土 9:00～16:00  
 試験期 (6/1～7/25の月～金) 9:00～18:00  
 夏休み期間 (7/30～9/19) 9:00～16:00

### 休館日

書庫整理日：毎月中旬の水曜日  
 夏休み期間：毎週土曜日  
 8/8(土)～9/6(日)

### 試験期の貸出

6/29(月)～7/23(木) 3日間貸出

### 夏休み特別貸出

期間：7/24(金)～9/11(金)  
 冊数：図書 無制限  
 AV資料 6巻  
 指定図書3冊 7/27(月)～9/11(金)  
 返却日：9/25(金)

※詳細や変更は掲示にてお知らせします。  
 ※常磐祭のため11/13(金)～16(月)は閉館します。

## 平成10年度図書委員会委員

板垣 弘子 (短大 国文学科)  
 佐藤 悟 (大学 国文学科)  
 島 高行 (大学 英文学科)  
 武笠 朗 (大学 美学美術史学科)  
 後藤 英子 (大学 食生活科学科)  
 中澤 愈 (大学 生活環境学科)  
 蘆澤 宏生 (大学 生活文化学科)  
 加藤 裕一 (短大 国文学科)  
 萩野 敏 (短大 英文学科)  
 奥野 和子 (短大 生活文化学科)  
 石井 紀子 (短大 図書館学課程)  
 窪田 夏子 (図書館事務部)

Library Mate 第20号 1998年7月

発行所 実践女子大学図書館  
 東京都日野市大坂上4-1-1  
 実践女子短期大学図書館  
 東京都日野市神明1-13-1  
 発行責任者 板垣弘子